

# 研究希望等調書記入上の注意

研究希望等調書は、修士課程を志望する者の口述試験の際に参考とします。

「所有する（取得見込みの）教育職員免許状の種類及び取得年月日」欄は、幼一免、小一免、中一免（国語）等と記入してください。

## 1 入学後の研究希望

本学大学院入学後、研究を進めていく上で考えられる研究課題及び研究内容については、「大学院案内」の大学院担当者の研究・教育の領域等も考慮して記入してください。

所定の欄の中に収まるように記入してください。また、別紙等を添付しないでください。

第2志望で修士課程を志望する者は、「第2志望」の用紙に記入してください。

## 2 卒業論文・卒業研究

内容欄には、卒業論文あるいは卒業時に実施した卒業研究等の題目名を記入してください。（提出予定を含む。）

## 3 研究・研修

(1) 年月順に記入してください。

(2) 内容欄には、研究論文・研究報告書の題目名、口頭発表のテーマ等を記入してください。（見込みを含む。）

(3) 研究論文・研究報告書については、単著・共著の区別も記入してください。

(4) 研修は、入学後の研究課題に関連のあるものを中心に記入してください。

## 4 所属学会・研究会等

所属している学会・研究会等がある場合には、その名称を記入してください。

## 5 学歴

高等学校卒業以降の学歴について、入学、転学、卒業又は修了（見込みを含む）を記入してください。

**大学等については、学部、学科、専攻名まで**記入してください。

**なお、外国において学校教育を受けた者は、初等教育（小学校）からの学歴について、国名と学校名を「入学年月」と「卒業年月」に分けて記入してください。**

## 6 職歴

(1) 「職歴」欄は、常勤としての身分を有していたすべての職務（学校、官公庁、会社等）及び非常勤として従事していた職で初等中等教育に関係する職務について、次の①～②により年月順に記入してください。

① 現に勤務している職務については、令和6年3月31日まで勤務しているものとして在職期間を記入する。ただし、令和6年4月1日以前に退職する予定があるときは、退職予定日までとして記入する。

② 在職期間について1か月未満となる期間がある場合は、1か月に切り上げる。

(2) 「左のうち初等中等教育教員として勤務した在職年月数」欄には、「職歴」欄に記入した職のうち初等中等教育教員として勤務した在職年月数について、次の①～③により記入してください。（この在職年月数の合計は、「入学志願票」における「教職経験年月数」欄と合致するものです。）

① 令和6年3月31日現在で算出し、令和6年4月1日以前に退職する予定があるときは退職予定日までで算出する。

② 非常勤として従事した期間については、勤務の形態（勤務時間、職務内容）が常勤の職員と同等である期間を含むことができる。

③ 休職期間（育児休業、国際派遣等の期間を含む。）は算入しない。